夕刊
磐城新聞
九月二十九日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

天氣豫報（小名濱測候所發表）
今晩　北東の風曇　小雨
明日　北西の風晴　一時曇

蛙釣り（上）
乙部呑海

私には『蛙釣り』といふ誰もヒトのやらない變つた『お家藝』がある。勿論技も名人の域に達してゐること言ふ迄もない。

□

その方法は普通の魚釣と大體異なるところはないが只釣針を用ゐないのと餌代りに豆大の綿を丸めて糸の先に結びつけることが少し違ふだけである。そして糸は白木綿、竿も有合せの四五尺の細竹で間に合ふのであるから、事は至極簡單で、そこにこの釣りの自慢があるわけである。

□

私がこの道具で獨り無心に庭に飼つてある蛙を釣へては、暫し消閑を樂しむのである。鈎を用ゐないから同じかへるが何遍でもヒツカゝるところにこの釣の面白さがある。但し鈎がついてゐないから釣れても三四尺位持ち上げたところで落ちるのである。尤も中にはその糸のついた餌を腹まで呑み込んで仕舞つて中々落ちないのもある、こんなのは相當強く振り廻しても落ちることはない。仕方がないからトント強く竿に衝撃を與へて落してやるのである。成るべく水の上に落してやる樣にはしてゐる。さうでないと高い處からだとそのまゝ延びて仕舞ふからである。

蛙のノビた恰好は如何にも言葉通りの恰好である。白い腹を上に向けて、足をだらりと延ばしてゐるところは一寸可哀さうな恰好であるが然し體力が強いと見えて間もなく恢復して動き出すので、こちらもヤレ〳〵と安心されるのである。

□

蛙は大體『トノサマガヘル』を用ゐる。一番澤山ゐる蛙だからである。この蛙は田にゐる蛙だから、庭には池を掘つてやらねといけない。

謁原逸山墓
東京　德富蘇峰

平民宰相豈求奇
蓋世毀譽彼一時
抵死自家風骨在
逸山此處是男兒

9月30日

△王陽明生る（明の成化八）△渤海來貢す（弘仁五）△靖國神社新築落成（明治三四）

その日〳〵

○
流星や漫々として刀根の水　野菊荷

秋此頃（下）
佐藤清長

○寂しければ芒が萩に白雲の流るゝを逐へて吹くか秋風
○善し惡しの噂さは訊けど振るところ呆呆は我が心なりけむ
○山越ゆる月夜の雷がごろごろとごろ〳〵と鳴るしまらくは鳴る
○雷吹ゆや遠いなづまの光驅けて疾風由々しく月に迫れり

講談　振袖横町（42）
須藤鐘一　荻原萬象畫

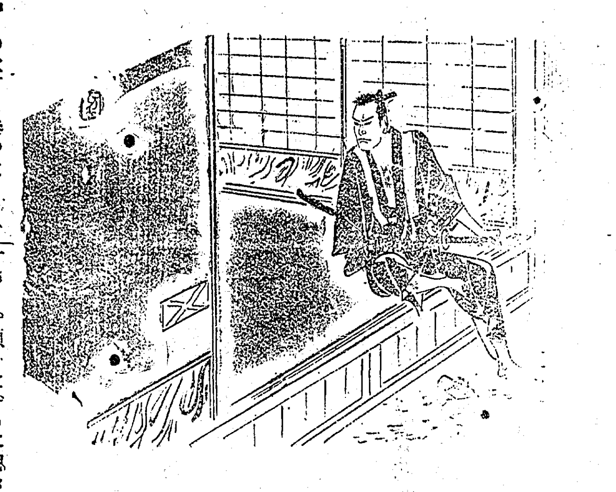
兄弟（七）

『拙者も參つて見よう。然し、その侍は身共のことは聞かなかつたのう……』

『旦那さまも、あの方を御存知なので……』

『そんなことはどうでもよい。拙者のことを訊かぬかと申すのぢや……』

『そんなことは、お訊きになりませんでした。』



『この次ぎに參つたとて、拙者のことは話してはならんぞ！よいか、それに拙者と五兵衛と知り合ひだなどと云ふことも云つてはならぬぞ！』

『はい、決してそんなことは申しません。まあ、一寸お上り下さいまし。』

『五兵衛も馬鹿者ぢや！いゝ年をして、吉原などへ入り込んで戻らないなどとは』

拙者の許までも知らせにまゐれ！身共もこれから吉原までまゐる。』

『はい承知いたしました。』

『なれど、五兵衛はよもやあの娘を吉原へ賣り飛ばしたのではあるまいな……』

『まさか。そんなことはないと存じます』

『身代金として受取つた高は、五百兩と聞いてゐたが、左樣であらうなう……』

團藏は、やまをかけて、おしなの嫉妬心を利用して、その金額を聞き出さうとの魂膽。

『五百兩ですつて、それでは私にかくしてゐるのでございますよ——なんて憎らしい人でございませう……何處のお屋敷だか存じませんが、仲間付の方が初めて持つて參りました金は二百兩。それから何でも、百五十兩とか頂いたやうに思ひますから、私には三百五十兩位だと云つて居りましたのでございます。』

あらうことか、旦那さまに五百兩と申したのなら、それが眞實なのでございませう。私に百五十兩の金を內緒にして、吉原などで、うつつを拔かしてゐるとは、飛んでもない奴でございます。ちえつ、口惜しいつ』

團藏は、內心にこりとして、

『三百五十兩其方には內緒にして持つてゐるのであらう。その金で吉原の女を見受して、圍ひ者に致す所存かも知れぬ。金は家に置いて參つてゐるか？』

『いゝえ、家には少しも置いてまゐりません。みんな持つて出掛けて居りますので……。旦那さま本當に、吉原の女を見受して、圍ふつもりなのでございませうか』

『どうも拙者にはさう思はれるぞ！油斷を致してをると、其方は棄てられてしまふぞ！』

『旦那さま、どう致しましたらよろしうございませうか？何とか好い智惠をお借し下さいませんでせうか』

團藏こゝぞとばかり、

『身共がこれから吉原に參り五兵衛に意見を致してつかはす。拙者も金がない。吉原まで參つて、五兵衛に會ひ、是が非でも伴つて歸宅致して遣はす。總代がそれは出せい！』

『有金殘らず持つて參つて致しても、一兩や一兩二分の金はあら……』

五兵衛を捕へて意見を致してつかはすのぢや。總代位出すのは當然であらう。無事に申すなら、それでもよい。拙者が吉原に乘込み、五兵衛をそゝのかし、有金殘らず使はしてしまふぞ。それでもよいと申すのなら、金を出すには及ばん。拙者のことではないからのう。』

全國印
アルバムでしたら
全國印アルバムの誠覺
新鮮な圖案
全國印アルバムの堅牢な裝幀
全國印アルバムの嚴選せられた紙質等を實物に就いて御覽下さい
只今數十種入荷いたして居ります氣のきいた御贈答用品として好適です
全國アルバム
全國コーナー
特約店 魁文堂 電話313番

田毎の
アイスクリーム
田町 電632

◇住宅地分讓◇
都心に近き保健境
平第三小學校東北方約二萬坪
金より物の時代
「安全の土地」
支那事變前では、投資家の投資物も種々雜多で、その向き向きに依つて、投資せられたものもありますが、事變の進行と共に各方面に於ける統制の强化は、全く自由に各方面への投資が抑制せらるゝこととなりました。その間に存つて殘されたる安全堅實にして、而かも至極有利なる投資としては、先づ第一に土地を擧げねばなりません。殊に最近に於ける跛行的景氣に依るインフレ傾向に、全國的土地投資額數が第一位と云つても過言ではないのであります。蓋し經濟界に於ける統制は、物價の抑制を招來してゐますが、獨り土地の價格には統制がなく、而かも遊資家の放出先に困つた投資も、期せずして土地に向つて來るのは、當然の歸結とも云ふべきであり、更に一面に於いて、事變終結に想を致すとき戰勝インフレの幕が切つて落さるゝこととなれば、産業界の殷盛と共に土地價の昂騰は期して待つべきものでありと存ぜられます從つて古來土地に投資した者には、殆んど全部が數十割の利益こそ見れ、決して損失はないと云はれてゐるのも、宜なる哉と思はれるのであります。
大小各口の御相談に應ず
御希望の方は市内田町一九蓮沼方（電話七八七番）へ御問合せ下さい

日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社特約店
株式會社 關彰商店平支店
福島縣平市一丁目（電話六十一番）
本店 茨城縣下館町 電話五五、三三九番
支店 茨城縣土浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話一三七番
茨城縣多賀郡關本驛前 電大津一四七番
福島縣四倉驛前 電平潟五四番
福島縣小名濱町 電話四八番
油槽所（常磐線泉驛前）
海岸給油所（大津港、平潟港、江名港）
ガソリン給油所（土浦町新國道日本石油給油所 電話八二四番）

實株は買ツテ御手元へ
必ヅ儲カル優良株
投資指針
●目下投資時代
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話一九一

職工及見習工募集
平市月見町
合資會社 佐藤鐵工所
電話三六二番

純綿利用加工時代！
染め物は
質實さ技術の優秀を誇る
迅速 叮嚀
吉田屋染工場
平市五丁目
電話五五八番

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下電六七四

磐城の御みやげ品
名物 靈峰羊かん（名産柿煉）
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豐間……辨天羊羹
◎各種 一本 十錢
製造發賣元 小川郷驛前
平屋賣店

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者 强口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します。

移轉開業（九月二十日ヨリ）
耳鼻咽喉科專門
増田醫院
平市紺屋町（吉田眼科前）
電話六五一番
小生病氣療養ノ爲、休院致シ居リ候處今般全快上記ノ場所ニ移轉開業仕リ候間御通知旁々御挨拶申上候
敬白
増田 之

メガネ專門の店

メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さう…………
平市本町二丁目
玉屋

只今入荷
金鶏印
天然バター
金鶏ミルクの北海道札幌工場製の天然バターです。
天然バター品薄の折柄是非御用命下さい
1/2ポンド　1/4ポンド詰
西村屋藥局
電話3番

縣と町村に中間機關

實現後に於て地方の被る各種利便

問題再燃動向注視さる

郡役所の復活或は之種の中間機關設置に就ては去る大正十五年郡制廢止後に於ける町村事務運營上の不便に鑑み從來數次に亘つて計畫研究され乍ら種々の事情その儘となつて來たが、局柄煩雜を極める町村事務の圓滑と地方振興の見地から現在の地方自治政機構を以てしては到底その遂行を期し得られぬ！と云ふ理由の下に問題が茲に再燃して橋本知事から近く開かるる地方官會議に之が施設に就て提案される事となつた。由來元石城郡役所の所在地たつた平市は濱三郡の要衝として縣治上樞要の地に在るから、同じく縣と遠隔の事情を同じうする會津が中間機關たる支廳を有するに反し、縣を直近の上級官廳とする處から急速を要する事務上の請訓打合せ等に就ては一々出縣して之を辨せねばならず其の手數と失費はさきに町村の一傷手であり、夙に這間の改善緩和を要望されてゐたもので、今回之が實現を見るに於ては當路首腦に會見を必要とする大名行列的の陳情請願等は第二としも少くとも事務上の問題に就ては地勢上當然平市にも設けらるべきその機關によつて埒があくこととなり事務簡捷上蒙る處絶大なるものがあらうとその動向が注視さるるに至つた

青沼市長が議長で —盛り澤山の— 諸議案を審議

六縣市部財務協議會

東北六縣市部財務協議會は昨報の如く來月十三、四の兩日青沼市長が議長で市公會堂に開くが建議案十二件、協議案八件は稅制改正に關するものが大部分を占めてゐる、平市の議案は

戶數割に代るべき住民稅及び徵收に關する件

出席者は左記七十八名で市內七旅館を指定し市當局ではこれが準備に忙殺されてゐる

△大藏省、內務省各一名△仙台稅務監督局四名△六縣稅務署側一九名（平三課長出席）△本縣內務總務部長外主事、屬官△宮城主事、屬官△市部四五名（甲年開催地釜石は市長出席）△平市會正副議長、商工會長

市民体育大會

中央に呼應して 市で開催協議

市では十一月三日の第十回明治神宮國民体育大會地方大會に關し來月二日午後二時から小學校、青年團長を招き協議

羊毛報國週間

緬羊の剪毛奬勵

事變下羊毛資源の重要性に鑑み來月一日から「羊毛報國週間」と定め當局では週間中飼育者をして緬羊の剪毛を奬勵することゝなつた剪毛すべき緬羊は本春生れの仔羊で体重五貫以上毛長曲尺で一寸以上のものとされてゐる

悄氣る母娘

雨に祟られた 第二の運動會

朝來の秋晴れに惠まれた一昨二十七日の第一小學校の運動會に引き替ね、今二十九日第二校のそれは夜來の雨に、早起の兒女を喜ばす合圖の花火も揚らず、幾日前から樂しみ待つた殊更氣の弱い少女丈けにその失望も一入で、折角調へたパンツやランニングを片づくる母親と共々の悄氣返り方見る目も氣の毒な程であつた

木村君戰死

神谷村出身

神谷村上片寄出身服部部隊上等兵木村忠三君は八月二十六日ノモンハンの戰闘で散華した旨原隊から通知あつた

同君は忠七氏（五二）サヨさん（四八）の三男で小學校卒業後上京鐵工所に勤めてゐた眞面目な青年、長兄は既に死亡、次兄忠二（二三）さんが實家で農業を營んでゐる、弟妹四人

菅野春雄君告別式

市內才槌小跡一菅野春雄君は入營後死亡、市葬を辭退したので今二十九日明覺寺で嚴かな告別式を執行した

實彈射擊參加

明治神宮における男子中等學校實彈射擊大會の縣豫選を兼ねる縣下男子中等學校實彈射擊大會は來る一日午前九時から縣下四方部の各代表校參加の下に福島市外渡利村の福島實彈射擊場に於て開催されるが參加八校、濱通りからは磐中が參加する

濱三郡代表校磐中

第一陣けふ下關上陸

石炭報國の使命を帶びて

半島同胞愈よ炭礦へ

軍需景氣に躍動する地方炭礦目ざして半島同胞七十五名の出稼先發隊がけふ下關に上陸した。これは常磐炭界が既報の如く當面の勞力不足を補充の爲當局に手續きの上主として南鮮方面から募集した磐城炭礦分の第一陣で、明三十日更に七十五名、來月半ばに約百五十名合計約三百名と入山炭礦への先發隊百名も來月半ば頃には來山する豫定でこの外古河、大日本兩礦へも近く入り込む筈である

各炭礦ではこれら同胞を約三ケ月間訓育した上石炭報國の第一線へ送る手筈を整へてゐる

小名濱に 漁船試驗標柱

縣漁聯では工費二千圓で小名濱海岸へ漁船速力試驗標柱が四本建てられ海軍の海圖にも記載されることゝなつた、これは東北最初の試みで各方面漁船にの利用が少くないだらう

入山同窓會 慰問會開催

湯本町入山小學校同窓會では郡軍、國婦自治會後援で來月八日午後六時から自治會館に出征遺家族慰問の音樂と舞踊の夕を開く

國を護つた傷兵護れ

銃後强化週間に際し 平紹介所援護に馬力

平職業紹介所では昨報の如く來月三日から行はるる銃後援護强化週間の趣旨に基き歸還、傷痍、戰死者遺家族援護に主力を注ぐことゝなり今二十九日午後一時から市會議事堂に炭礦、會社、工場主腦部を招いて左記諸件につき協議、事業主と緊密な連絡をとることゝなつた

一、傷痍軍人並に一般歸鄕軍人の優先就職斡旋

二、戰歿軍人の遺族並に出征軍人の家族に對し同上

三、出征又は應召前雇傭者の復職と待遇復活

四、傷痍軍人就職には其の疾患に應じ作業設備並用具を改善職場の變更等に依り就業を容易ならしめ再起奉公の誠を盡さしむること

五、傷い軍人と他の同僚勞務者との間の心理的又は技術的關係に對し從事する樣格別配意を爲すこと

六、被徵用者には應召者に準じたる處遇を爲し應召者の精神的、物質的不安の除去に努むること

七、傷い軍人又は歸還軍人の就職者中勤務成績優良者報告方

銃後奉公會 會員募集

來月から全市へ

銃後陣强化を目的に市軍事後援會の改組された銃後奉公會は陣營が整備したので愈よ會員募集に乘り出すことゝなり來月早々市議、區長らの應援を求めて各區別に勸誘の手を延ばすと

篠山校長ら鹿立ち

篠山平第一、岩掘入山兩小學校長ら在滿皇軍慰問滿洲教育視察團一行十二名は二十八日午前九時五十六分福島驛發列車で出發二十九日午後三時新潟港出帆の月山丸で鹿島立ちした

陣中を聽く

……………（475）……………

其時こそ七生報國 御奉公申し上ぐる

古鍛冶町出身 櫻山正平君（通信）

謹啓。盛夏の折濃綠に彩られ北滿の曠野に在りて亂戰乍ら御見舞ひ申上候。小生回顧しますれば銃後各位の萬歲裡に勇躍征途に就き申候より春風秋雨茲に×年有餘、此の間ソ滿國境方面の警備或は徐州大會戰る酷寒酷暑を克服して北支の曠野に轉戰、吾々健兒の意氣ゝ熱し居るに不幸我と戰友の中にも敵彈に斃る或は（略）是に戰友を偲んで誠に血涙の憾に堪へざるもの有之候。然るに不肖儀頗る元氣旺盛にて今尚日夜御奉公致し得るはこれ偏に銃後各位の御熱誠なる御激勵と武運長久の御祈願の賜と深謝罷在候。茲に拙文を以て御禮申上ぐる次第に御座候。

茲に聖戰第三年の炎火を見るに至りて支那全土は全く皇軍の手に歸し平和の日近きを傳へられ候は唯々慶賀の至りに存じ候。然るに此度西部ソ滿國境にノモンハン事件勃發致し、新らしき東洋平和の爲に、正義防共軍滿軍の後衛として惡しきコミンテルン征伐、アジアより否全世界より除き、平和に歸することを思はればその時こそ不肖も七生報國御奉公の覺悟に御座候へば今後共によろしく御熱援の程御願ひ申上候。

尚は小生征途以來留守中一方ならぬ御世話に相成り候由重ねて御禮申上げ候、併せて作勝手御ねがひ申上げ候

最後に銃後各位の御健勝と御幸福とを遙かに北滿の地よりお祈り申上候

暑中御見舞旁々近況御報告申上度如斯に御座候

新な覺悟を

元入山從業員 大橋保雄君

當地も永い間の雨から脱れ灼熱の炎天下に一層濃き綠を眺めて只管國家の爲に文字通り東奔西走罷在候、唐十四百餘州も物の數とは存せず北邊風雲急を告げ執念深き蘇聯の態度實に憤慨に堪へず。

更に天津に於ける對英問題の成り行き小生は新なる覺悟を致し候。

雨蕭條秋は深む

秋刀魚＝松たけ＝ 近く出廻る海やまの幸

第二小學校の運動會を根底から叩き潰したけふの雨は僅かに夜來の短い間じめ〳〵午前中から宛然薄暮の樣な陰鬱さは、既に何日間かを降り籠められた所謂秋霖連日と云つた詫しさが感ぜられた。薄暗い土間の隅からは街なかのひる時にあるまじき『おけら』の啼き聲が深み行く秋のコーラスを續け、鋪道をゆく足駄の齒音も厭に腹の蕊迄響く樣である。うつかりした沈着の仰山な嘘だらうと〳〵し、愛犬も狐の樣に耳を立てキヨトンと四邊を見廻すと云つた風情、日誌の寒暖欄も『酷暑』から『涼』に變つてさすらひの遊子が港の歌に涙ぐむ蕭條の季節が漸く本格化しつゝ三陸歸りの秋刀魚、白岩名物の松茸、海と山の豊かなさちは愈よ近く出廻る事であらう

結果はどうか？

入試撤廢が齎す 市內各中等校への響き

中等學校入學試驗全廢に關する當局の意向が選拔方法として

小學校長の報告、中等學校に於ける人物考査、身體檢査

以上三者の綜合判定による事に決定し、從來受持ち教員、受驗兒童並びに各父兄と所謂三位一体の血みどろな苦闘を續け來た準備勉強は理論上茲に全く解消するわけであるが、右は採用率が殆ど常態に置かれてある普通一般を對象とした原則的規定で、常に二倍乃至それ以上の多數志望者を有する磐中、磐女兩縣立及び平商等に於ては、果して之が方法で採否決定の萬全を期し得るか、判定困難なる場合は抽籤による、などの定めも、不合格の埒外に立たせらるる受驗者が餘りに多數なるべき前記市內各學校に於て公正妥當に行はるるかどうかに就き、受驗難の土地柄丈けに關係父兄一般に於ては早くも之に對する懸念、懐き、時恰も例年本格の受驗準備に入る第二學期初頭に際し之に因て兒童の上に課さるる負擔の輕重その他に就き多大の關心を喚つてゐる

平市慶弔錄

○婚姻 富山市總曲輪一〇八福原安清さん（二六）南町三五吉野常さん（二六）

▲死亡 柳町三佐藤ミサヲさん（二四）

三十日

【小名濱測候所觀測】

滿潮 前三、四〇 後三、三五 干潮 前九、四五 後一〇、一〇

舊八月十八日 土曜 庚午 先勝 收 胃宿 新九月三十日

▲一白 心を緩く持ちてしづまぬ樣にすべし世話事凶▲二黑 一念を集中して心を他に散さずば吉日たり▲三碧 小ざ折を氣に掛けず心を勵まして進むべし▲四綠 出費もあれどもそばより入り來り餘りある日▲五黃 虚榮心を去りて實利一方にかたむき勵むべし▲六白 一喜一憂出入も亦常ならざる日萬事に注意▲七赤 外に奮闘するときは財自から內に集るべし▲八白 突進は戒しむべきも後退すべき時にあらず▲九紫 其の位に安んずれば福自から集り來るべし

當る二十九日開店

とんかつ專門の店

お待たせ致しました、どうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します

平市仲田町（電話四六五）

かの家

爾今當分の間毎月一日を公休日と相定め候間右御諒承願上候

但し病人等により御來店の方には販賣致します。

福島縣製氷工業組合
平市仲買人
平製氷會社
魚清氷卸部
丸一屋魚店氷部

おでん たつた揚 やきとり

一平

電話二六三番

平市南町

大和田醫院

電話一七〇

移轉廣告

今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候

昭和十四年四月

平市南町十四番地（警察署通り角）

（舊診療所 平市六丁目）

外科一般 內臟外科 性病科 肛門病科

木村外科醫院

木村淳

電話三〇九番

◎入院應需

清凉の— 小瀧は招く

一日の清遊には……どうぞ小瀧へ！

お迎へお送りに輕快な馬車の用意があります

鐵道指定旅館 割烹 小瀧

電話小名濱一〇三

旅館 大幸館

東京上野驛前 下谷郵便局横通角

私は平市出身ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります

電話下谷[illegible]七七番

主人 比佐棟雄

これは便利！

△手を荒さず

△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず

△つけておくだけで洗へる

㊫マルミ粉末石鹼

製造元 平市材木町一一

皮膚科 泌尿器科 性病科 專門

江尻醫院

診察時間 午前八時ヨリ午後九時マデ

平市田町 電話六九一

醫學博士 江尻伊三郎

入院隨意